

檜原村地域公共交通活性化協議会(東京都檜原村)

総合事業

確保維持改善事業

取組み(功績)の概要

「路線バスと役割分担しながら、山村の交通空白地域にフィーダー交通を導入」

「高齢者や小中高校生等の日常生活を支える」という目標のもと、村内の交通空白地域にデマンドバス「やまびこ」を導入した。

主要道路を運行する路線バスは幹線、デマンドバスは支線との役割分担を行い、ダイヤ調整など乗り継ぎ利便性の向上を実施した。交通空白地域の解消のみならず、路線バス(幹線)の利用者が増加するなど、相乗効果が生まれている。

グループインタビューやアンケート調査により、利用者や地域住民のニーズ・意見を事業に反映している。グループインタビュー調査の結果を受け、通学に適した電車に接続するため、早朝時間帯に「通学専用急行バス」の運行を開始した。

事業内容

1. 檜原村デマンドバス「やまびこ号」

路線区分 ・神戸(かのと)線 : 神戸園入口 - 郷土資料館
・藤倉線 : 上白岩 - 藤倉バス停
・笛吹・上平線(実証運行) : 笛吹芝下 - 人里バス停

<グループインタビューの様子>



本数 ・神戸線: 1日14便(定時便10本、予約便4本)
・藤倉線: 1日10便(定時便9本、予約便1本)
・笛吹・上平線: 1日6便、
月・水・金曜日運行(予約便6本)

運賃 100円(各路線共通)

2. 檜原村通学専用急行バス実証運行(平成22年9月1日~(平成25年3月末まで延長中))

運行区間 払沢の滝入口バス停~武蔵五日市駅(和田向バス停以降はノンストップ)

運行日 月~金曜日(祝日は運休)

利用対象者 高校生、専門学校生、大学生等

本数 1日早朝2便

運賃 100円(引き換えに帰りの路線バスに利用できる100円分の割引チケットを配布)



* 路線バスとデマンドバスの乗り継ぎ利便性を確保